

「昔の保存食づくり」打合せシート（指導要領）

1. 活動の概要

昔、作られていた兵糧丸を参考に現代版保存食を作ろう。

2. 活動のねらい

- 自分たちで保存食を作って食べる体験を通して、食への関心を高める。
- 自分たちで保存食を作って食べる体験を通して、歴史への探究心を促す。

3. 人数・場所・時間（目安）

- 対象者・人数：小学校1年生以上・5人～40人程度
- 場所：野外炊飯場、クラフト室他
- 時間：90分～120分

4. 活動の展開

- ① 責任者は、事務室で職員と打合せを行う。（以下の「9 打合せ事項」の確認）
- ② レストランで食材を受け取る。
- ③ 必要な道具を準備する。
- ④ 作り方シートをもとに兵糧丸を作って食べる。
- ⑤ 片付けを行う。
- ⑥ 活動の振り返りを行う。
- ⑦ 責任者は、事務室へ活動終了の報告をし、職員の点検を受ける。

5. 事前に団体（責任者）・参加者で準備するもの、当所で貸し出すもの

	団体（責任者）	参加者	大洲青少年交流の家
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話 ・救急用品 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク ・衛生用品（洗剤、石鹸、消毒用ハンドジェル等） ・マッチ ・手ぬぐいまたはタオル（30cm×80cm程度のもの。蒸すときに使う。） ※ 食材と薪は、事前に教材申込書にて申し込む。薪は10人で1束が目安。 ※ <u>食べ物アレルギーがないか、事前に確認をしておくこと。</u> （食材に、<u>そば・ごま・大豆</u>・はちみつ・料理酒を含む。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式かまど ・調理用具 ・食器 ・作り方シート ・新聞紙

6. 安全上の留意点

- ・ 火の管理に注意すること。
- ・ 食中毒防止に努めること。
- ・ 自主活動のため、導入説明の手順を職員と事前打ち合わせをして実施する。

7. 中止判断基準

- ・ 大洲市に大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪警報のいずれかが発令されているとき。
- ・ 雷が鳴っている時（活動中に雷が鳴った場合は、即中止）。
- ・ 大洲市に大雨・洪水・強風・雷注意報のいずれかが発令されているときは、職員とインターネット等で気象状況を確認して協議する。

8. 事故発生時の処置

責任者は事務所に緊急連絡（場所・状態）をするとともに応急手当等を行う。

9. 打合せ事項（責任者と事務室職員）

参加者数	名	団体の準備物	携帯電話・救急用品
引率者数	名	参加者の準備物	マスク・衛生用品・手ぬぐい
責任者氏名		参加者の服装	汚れてもいい服装
実施時間	: ~ :	緊急時の連絡	携帯 - -